

神戸女学院中学部突破カリキュ

使用教材

傾向と対策

ポイント

基本戦略/入試データ

◎ 年間スケジュール

	2月～3月	4月～5月	6月～7月	夏休み	9月	10月	11月	12月	1月
学校行事									
トライ対策スケジュール	準備期	基礎力養成期		応用力養成期		発展力養成期		実践力養成期	
	算：・はなまるリトル・計算一行問題集上下。国：・はなまるリトル・漢字4年生上下	算・国・社・理：・四谷大塚予習シリーズ4年生上下、演習問題集4年生上下。算：計算一行問題集5年生上下。国：漢字5年生上下		算・国・社・理：・四谷大塚予習シリーズ5年生上下、演習問題集5年生上下。算・社・理：計算一行問題集6年生上下。国：漢字6年生上下		算・国：・四谷大塚予習シリーズ6年生上、演習問題集6年生上。社・理：・四谷大塚予習シリーズ6年生上下、演習問題集6年生上。		算・国・社・理：近畿の中学受験問題集/過去問題集	
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・算数：早めに基礎を確立させ、多くの実践的演習を実施することが大切。 ・国語：漢字や慣用句、熟語・文法問題は文章の中でどう使われているかを把握できるよう、高い読解力を身に付けることが大切。 								

◎Data Mining

算数	<p>〈目標点数〉80/120点 試験時間50分〈出題分析〉 計算問題：1問（平均算・つるかめ算・割合・単位・規則性）／一文問題：3問（規則性・旅人算・面積・平均・整数の性質・立体）／応用文章題：4問（点の移動・水量の変化・立体・規則性） 〈対策〉非常に高いレベルでの応用力、発想力、思考力が問われる問題が多い。文章題は問題文が短いので、読解力が問われる。図形では、面積の変化や点の移動に関する問題が例年出題されている。類題を多く解くことで、問題を早く正確に解く力を養いたい。</p>
国語	<p>〈目標点数〉80/120点 試験時間50分〈出題分析〉 物語文：1問/論説文：1問/漢字：1問 〈対策〉 問題文の内容は多岐にわたる。記述式の設問も多い。要点をまとめる力も必要である。選択問題でも、選択肢が非常に練られていて、いわゆるひっかけが多い。漢字や慣用句、熟語や文法においても、単純に知識を問う問題は少ない。意味をしっかりと考えて問題を解く訓練を日頃から行いたい。</p>
社会	<p>〈目標点数〉65/100点 試験時間45分〈出題分析〉 地理：2問/歴史：2問/公民：1問 〈対策〉 出題範囲が広く、問われる内容も多岐にわたる。単純な暗記だけでなく、テーマごとにまとめた資料、ノートをつくるなど、普段から工夫した学習が必要。</p>
理科	<p>〈目標点数〉65/100点 試験時間45分〈出題分析〉 物理：1問/化学：2問/生物：3問/地学：1問 〈対策〉 設問数が多く、計算問題も難易度の高いものが多い。基礎的な事項の反復はもちろんのこと、問題を解くスピードを上げていくことが必要。</p>
基本戦略と入試データ	<ul style="list-style-type: none"> ・合格最低点をとれば合格である。→各科目60%を超える！トライでは安全圏ライン75%獲得を目指す！ ・傾斜配点利用により優位に立つ。→算数・国語の配点が高いため、配点の大きい算数国語に時間をかけ受験を優位に進める。（理科社会を軽視はしない！） ・入試データ平成22年度：募集人数135人、合格者数157人/257人受験中。合格最低点255/460点

◎ こういう生徒にお勧め！

- ・中学受験の準備がまだできていない（中学年）
- ・わからないところがふえてきた（中学年）
- ・志望校までの偏差値が足りない（高学年）
- ・なんとか受験に間に合わせたい（高学年）
- ・塾の内容についていけない（高学年）

◎ 対象エリア

- ・近畿圏内
- 対象学年
- ・小学校3年生～6年生

◎ 対策の特徴

- 特徴①
- ・細かい計画、戦略を練った、プロによる指導が受けられる。
- 特徴②
- ・超難問への解き方対策。考え方は勿論、テクニックもしっかり身に付けることができる。
- 特徴③
- ・塾の解き方に合わせた指導から、より明確な解法まで、生徒に合わせた指導を行なう。
- 対応教師について
- セレクトBからプロアドバンスの教師